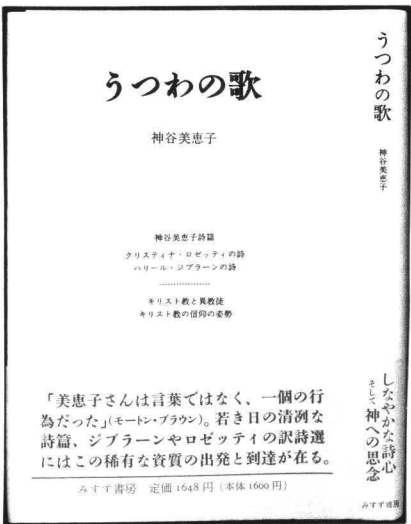


神谷美恵子 かみや みづゑ 精神科醫、醫學博士。大正二年一月十一日岡山縣生まれ、昭和五十四年十月二十一日歿（一九四一七九）。前田多門の長女、フリンズ文藝者前田陽一は兄。昭和十年津田英學塾卒。アメリカ留學後、十九年東京女子醫學院専門学校卒。神戸女學院大學教授、津田塾大學教授を歴任。この間長島愛生園精神科勤務。夫は生物學者神谷宣郎。歿後『神谷美恵子著作集』全十二卷（昭和五十五年一と六十年刊）がある。

譯書に、『アウレリウス著 宇宙省録一附・ケプラーの繪画』（昭和二十四年四月二十日創元社）『折田學叢書』（等。著書に『生きがひのついで』（昭和四十二年四月）『極限のひと一病める人とともに』（昭和四十八年九月）『京都・ルガール社』（昭和五十二年五月）『二十五日京都・エッセイ集一教育・人物篇』（昭和五十二年五月）『二十五日京都・ルガール社』（昭和五十二年九月）『つわの歌』（平成元年九月）『つわの歌』（平成元年九月）』等。



つわの歌

神谷美恵子

しなやかな詩心  
そして神への思念

「美恵子さんは言葉ではなく、一個の行為だった」(モートン・ブラウン)。若き日の清冽な詩篇、ジブラーンやロゼッティの訳詩選にはこの稀有な資質の出発と到達が在る。

みすず書房 定価1648円(本体1600円)